

外国語科目の履修要領・教育課程表

(2010から2013年度入学者に適用)

英語英文学科

| | | |
|----------------------------------|---|---------------|
| 必修科目としての外国語 | 韓国語, スペイン語, 中国語, ドイツ語, フランス語, ロシア語, 日本語から一外国語を選び, その外国語を8単位修得しなければならない。ただし, 日本語については「日本語の履修方法」を参照のこと。 卒業要件単位(8単位)を超える単位は卒業要件中の「関連科目」に算入する。 | |
| 選択科目としての外国語 (必修以外に外国語を履修した場合) | 必修科目の外国語以外に, 外国語を修得した場合, その単位は卒業要件中の「関連科目」に算入する。 | |
| 英語の履修方法 | 必修科目として 英語 | 英語の科目は履修できない。 |
| | 選択科目として 英語 | 英語の科目は履修できない。 |
| 英語以外の外国語の履修方法 (日本語を除く) | 英語以外の外国語は, 韓国語, スペイン語, 中国語, ドイツ語, フランス語, ロシア語がある。 それぞれ初級 A・A・B・B, 中級 A・A・B・B・C・C・D・D, 上級 A・A・B・B・C・C に分かれる。必修の外国語(第一外国語)として選択した場合必修8単位は初級4単位と中級4単位をもって充当する。 本学入学以前に初級程度以上の知識をもっている者は, 中級4単位と上級4単位でもよい。ただし, あらかじめ当該外国語の専任教員の許可を受けなければならない。 原則として, それぞれの科目は前学期と後学期()を通年で履修しなければならない。 学部・学科・クラス・ペアの指定がある科目は, その指定された授業を履修すること。ただし, 当該外国語の専任教員の許可を得た場合, 他の授業を履修することができる。 初級を修得して中級を履修する場合, 原則として初級 A と A または初級 B と B の組み合わせで, 2単位を修得しなければならない。ただし, スペイン語については, 原則として初級 A・A・B・B の全てを修得していなければ中級を履修することはできない。上記初級4単位のうち3単位を修得している場合は, 未修得の初級1単位と中級の同時履修を認める。中国語については, 初級 A・A・B・B のうちいずれか2単位を修得していれば中級の履修を認める。 | |
| 日本語の履修方法 | 日本語は「外国人留学生」及び「外国高等学校在学経験者(帰国生徒等)」対象の外国語である。履修には資格認定が必要であるので, 必ずガイダンスに出席して履修の資格認定を受けなければならない。 日本語を必修の外国語とする場合, 日本語 A・A・B・B・C・C・D・D・E・E・F・F (各1単位)のうちから, 計8単位を1年次に履修することが望ましい。 原則として, それぞれの科目は前学期と後学期()を通年で履修しなければならない。 | |

スペイン語学科

| | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|-----------------------|---|-----------------------|-----------------------|---------------|---------------|-------------|---|-----------------------|-------------|------------|------------|
| <p>必修科目としての外国語</p> | <p>原則として英語8単位を修得しなければならない。 英語以外の外国語を必修科目とする場合は、あらかじめ学部大学院課・外国語学部担当者に申し出ること。 卒業要件単位(8単位)を超える単位は卒業要件中の「関連科目」に算入する。</p> | | | | | | | | | | | | |
| <p>選択科目としての外国語 (必修以外に外国語を履修した場合)</p> | <p>必修科目の外国語以外に、外国語を修得した場合、その単位は卒業要件中の「関連科目」に算入する(選択科目としての英語については、下記の英語の履修方法を参照のこと)。</p> | | | | | | | | | | | | |
| <p>英語の履修方法</p> | <p>必修科目としての英語</p> <p>必修科目の英語は、プレイメントテストに基づいたクラス編成を行う。 原則として、前学期と後学期(・)は指定されたクラスの授業を履修しなければならない。 なお、プレイメントテスト実施については「学修スタートガイド」を参照のこと。</p> <p>1年次では</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>英語(Writing)</td> <td rowspan="4" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="4">4科目 計4単位を履修しなければならない。</td> </tr> <tr> <td>英語(Writing)</td> </tr> <tr> <td>英語(Listening)</td> </tr> <tr> <td>英語(Listening)</td> </tr> </table> <p>2年次では</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>英語(Reading)</td> <td rowspan="4" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="4">4科目 計4単位を履修しなければならない。</td> </tr> <tr> <td>英語(Reading)</td> </tr> <tr> <td>英語(C.C.C.)</td> </tr> <tr> <td>英語(C.C.C.)</td> </tr> </table> | 英語(Writing) | } | 4科目 計4単位を履修しなければならない。 | 英語(Writing) | 英語(Listening) | 英語(Listening) | 英語(Reading) | } | 4科目 計4単位を履修しなければならない。 | 英語(Reading) | 英語(C.C.C.) | 英語(C.C.C.) |
| | 英語(Writing) | } | | | 4科目 計4単位を履修しなければならない。 | | | | | | | | |
| 英語(Writing) | | | | | | | | | | | | | |
| 英語(Listening) | | | | | | | | | | | | | |
| 英語(Listening) | | | | | | | | | | | | | |
| 英語(Reading) | } | 4科目 計4単位を履修しなければならない。 | | | | | | | | | | | |
| 英語(Reading) | | | | | | | | | | | | | |
| 英語(C.C.C.) | | | | | | | | | | | | | |
| 英語(C.C.C.) | | | | | | | | | | | | | |
| <p>再履修の方法</p> <p>上記の授業科目を修得できなかった場合、英語 RE- または英語 RE- (各1単位)を履修しなければならない。ただし、履修できる単位は英語の不足単位分のみであり、履修する年度で同一教員の同じ授業科目を複数履修できない。</p> <p>「外国語科目教育課程表」の「対象学部・学科等」欄で「選択英語」と表記している科目である。修得した単位は関連科目に算入する。各科目各1単位、英語(O.C.S.)は各科目各2単位。 原則として、それぞれの科目は前学期と後学期(・)を、通年で履修しなければならない。ただし、英語(O.C.S.)を除く。</p> <p>英語(O.C.S.)について</p> <p>1年次では</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語(O.C.S.)A- 英語(O.C.S.)A- 英語(O.C.S.)A- 英語(O.C.S.)A- 英語(O.C.S.)A- 英語(O.C.S.)A- <p>2年次では</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語(O.C.S.)B- 英語(O.C.S.)B- 英語(O.C.S.)B- 英語(O.C.S.)B- 英語(O.C.S.)B- 英語(O.C.S.)B- 英語(O.C.S.)B- <p>なお、「英語(O.C.S.)」の授業科目名に含まれる数字(～)はそれぞれのレベルを表している。 英語(留学生初習)は、履修できない。</p> | | | | | | | | | | | | | |
| <p>英語以外の外国語の履修方法 (日本語を除く)</p> | <p>英語以外の外国語は、韓国語、スペイン語、中国語、ドイツ語、フランス語、ロシア語がある。ただし、スペイン語学科はスペイン語を履修できない。 それぞれ初級A・A・B・B, 中級A・A・B・B・C・C・D・D, 上級A・A・B・B・C・Cに分かれる。必修の外国語(第一外国語)として選択した場合必修8単位は初級4単位と中級4単位をもって充当する。 本学入学以前に初級程度以上の知識をもっている者は、中級4単位と上級4単位でもよい。ただし、あらかじめ当該外国語の専任教員の許可を受けなければならない。 原則として、それぞれの科目は前学期と後学期(・)を通年で履修しなければならない。 学部・学科・クラス・ペアの指定がある科目は、その指定された授業を履修すること。ただし、当該外国語の専任教員の許可を得た場合、他の授業を履修することができる。 初級を修得して中級を履修する場合、原則として初級AとA または初級BとBの組み合わせで、2単位を修得しなければならない。ただし、中国語については、初級A・A・B・Bのうちいずれか2単位を修得していれば中級の履修を認める。</p> | | | | | | | | | | | | |
| <p>日本語の履修方法</p> | <p>日本語は「外国人留学生」及び、「外国高等学校在学経験者(帰国生徒等)」対象の外国語である。履修には資格認定が必要であるので、必ずガイダンスに出席して履修の資格認定を受けなければならない。 日本語を必修の外国語とする場合、日本語A・A・B・B・C・C・D・D・E・E・F・F(各1単位)のうちから、計8単位を1年次に履修することが望ましい。 原則として、それぞれの科目は前学期と後学期(・)を通年で履修しなければならない。</p> | | | | | | | | | | | | |

中国語学科

| | |
|--|---|
| <p>必修科目としての 外国語</p> | <p>英語 10 単位を修得しなければならない。</p> |
| <p>選択科目としての 外国語 (必修以外に外国語 を履修した場合)</p> | <p>必修科目の外国語以外に、外国語を修得した場合、その単位は卒業要件中の「関連科目」に算入する(選択科目としての英語については、下記の英語の履修方法を参照のこと)。</p> |
| <p>英語の履修 方 法</p> | <p>必修科目としての英語</p> <p>必修科目の英語は、プレイスメントテストに基づいたクラス編成を行う。 原則として、指定されたクラスの授業を履修しなければならない。 なお、プレイスメントテスト実施については「学修スタートガイド」を参照のこと。</p> <p>1 年次では 英語(Writing) } 英語(Writing) } 4 科目 計 4 単位を履修しなければならない。 英語(Listening) } 英語(Listening) }</p> <p>2 年次では 英語(Reading) } 英語(Reading) } 4 科目 計 4 単位を履修しなければならない。 英語(C.C.C.) } 英語(C.C.C.) }</p> <p>3 年次では 英語(O.C.S.)B- } 英語(O.C.S.)B- } 英語(O.C.S.)Bは、通年科目で、前学期・後学期共に週1回授業があり、各科目2単位。 英語(O.C.S.)B- } この中から1レベル(1科目2単位)を履修しなければならない。 英語(O.C.S.)B- } レベルはプレイスメントテストに基づき決定する。 英語(O.C.S.)B- } 英語(O.C.S.)B- } 英語(O.C.S.)B- } なお、「英語(O.C.S.)」の授業科目名に含まれる数字(~)はそれぞれのレベルを表している。</p> <p>再履修の方法 1・2年次の必修科目の英語を修得できなかった場合、英語 RE- または英語 RE- (各1単位)を履修しなければならない。ただし、履修できる単位は英語の不足単位分のみであり、履修する年度で同一教員の同じ授業科目を複数履修できない。 3年次の必修科目の英語(O.C.S.)B を修得できなかった場合、原則、前年度と同一の授業科目(レベル)を履修しなければならない。</p> <p>選択科目としての英語</p> <p>「外国語科目教育課程表」の「対象学部・学科等」欄で「選択英語」と表記している科目である。修得した単位は「関連科目」に算入する。 英語(留学生初習)は、履修できない。</p> |
| <p>英語以外の外国語の 履修方法 (日本語を除く)</p> | <p>英語以外の外国語は、韓国語、スペイン語、中国語、ドイツ語、フランス語、ロシア語がある。ただし、中国語の初級と中級は履修できない。 それぞれ初級 A・A・B・B, 中級 A・A・B・B・C・C・D・D, 上級 A・A・B・B・C・C に分かれる。 原則として、それぞれの科目は前学期と後学期(・)を通年で履修しなければならない。 学部・学科・クラス・ペアの指定がある科目は、その指定された授業を履修すること。ただし、専任教員の許可を得た場合、他の授業を履修することができる。 初級を修得して中級を履修する場合、原則として初級 A と A または初級 B と B の組み合わせで、2単位を修得しなければならない。ただし、スペイン語については、原則として初級 A・A・B・B の全てを修得していなければ中級を履修することはできない。上記初級4単位のうち3単位を修得している場合は、未修得の初級1単位と中級の同時履修を認める。</p> |
| <p>日本語の履修方法</p> | <p>日本語は「外国人留学生」及び、「外国高等学校在学経験者(帰国生徒等)」対象の外国語である。履修には資格認定が必要であるので、必ずガイダンスに出席して履修の資格認定を受けなければならない。 日本語を必修の外国語とする場合、日本語 A・A・B・B・C・C・D・D・E・E・F・F (各1単位)のうちから、計10単位を履修しなければならない。 原則として、それぞれの科目は前学期と後学期(・)を通年で履修しなければならない。</p> |

国際文化交流学科

| | |
|----------------------------------|---|
| 必修科目としての外国語 | 英語 1 4 単位を修得しなければならない。 |
| 選択科目としての外国語 (必修以外に外国語を履修した場合) | 必修科目の外国語以外に、外国語(中級・上級に限る)を修得した場合、その単位は、6 単位を上限として卒業要件中の「関連科目」に算入する(選択科目としての英語については、下記の英語の履修方法を参照のこと)。各種検定試験合格者の各種外国語の単位認定については、いずれか 1 外国語の検定試験に限り、2 単位を上限として関連科目に算入する。 |
| 英語の履修方法 | <p>必修科目の英語は、プレースメントテストに基づいたクラス編成を行う。 原則として、指定されたクラスの授業を履修しなければならない。 なお、プレースメントテスト実施については「学修スタートガイド」を参照のこと。</p> <p>1 年次では 英語(Writing) } 英語(Writing) } 4 科目 計 4 単位を履修しなければならない。 英語(Listening) } 英語(Listening) }</p> <p>2 年次では 英語(Reading) } 英語(Reading) } 4 科目 計 4 単位を履修しなければならない。 英語(C.C.C.) } 英語(C.C.C.) }</p> <p>また、1 年次では 英語(O.C.S.)A- } 英語(O.C.S.)A- } 英語(O.C.S.)A は、半期科目で、週 2 回授業があり、各科目 2 単位。 英語(O.C.S.)A- } この中から前学期・後学期で連続した 2 レベル(2 科目 4 単位)を履修しなければならない。 英語(O.C.S.)A- } レベルはプレースメントテストに基づき決定する。 英語(O.C.S.)A- }</p> <p>2 年次では 英語(O.C.S.)B- } 英語(O.C.S.)B- } 英語(O.C.S.)B は、通年科目で、前学期・後学期共に週 1 回授業があり、各科目 2 英語(O.C.S.)B- } 単位。 英語(O.C.S.)B- } この中から 1 レベル(1 科目 2 単位)を履修しなければならない。 英語(O.C.S.)B- } レベルはプレースメントテストに基づき決定する。 英語(O.C.S.)B- } なお、「英語(O.C.S.)」の授業科目名に含まれる数字(~)はそれぞれのレベルを表している。</p> <p>再履修の方法 必修科目の英語(Listening, Writing, Reading, C.C.C.)を修得できなかった場合、英語 RE- または英語 RE-(各 1 単位)を履修しなければならない。ただし、履修できる単位は英語の不足単位分のみであり、履修する年度で同一教員の同じ授業科目を複数履修できない。 必修科目の英語(O.C.S.)を修得できなかった場合、原則、前年度と同一の授業科目(レベル)を履修しなければならない。</p> <p>選択科目としての英語 「外国語科目教育課程表」の「対象学部・学科等」欄で「選択英語」と表記している科目である。 修得した「中級」「上級」の単位は 6 単位を上限として「関連科目」に算入する。 英語(留学生初習)は、履修できない。</p> |
| 英語以外の外国語の履修方法 (日本語を除く) | <p>英語以外の外国語は、韓国語、スペイン語、中国語、ドイツ語、フランス語、ロシア語がある。 それぞれ初級 A ・ A ・ B ・ B , 中級 A ・ A ・ B ・ B ・ C ・ C ・ D ・ D , 上級 A ・ A ・ B ・ B ・ C ・ C に分かれる。 原則として、それぞれの科目は前学期と後学期(・)を通年で履修しなければならない。 学部・学科・クラス・ペアの指定がある科目は、その指定された授業を履修すること。ただし、当該外国語の専任教員の許可を得た場合、他の授業を履修することができる。 中級を履修する場合、原則として初級 A と A または初級 B と B の組み合わせで、2 単位を修得していなければならない。なお、「初級」の単位にかえて、専攻科目の地域言語(同一言語)の「入門」4 単位の修得でもよい。 「初級」の単位は、卒業要件単位に算入しない。</p> |
| 日本語の履修方法 | 日本語の科目は履修できない。 |